

2017年12月25日  
 国分グループ本社株式会社  
 凸版印刷株式会社  
 No.58

## 国分と凸版印刷、食品容器の未来予測

食品容器の変遷と未来予測を記載した調査レポート「食品容器の未来を考える」を  
 共同制作、容器の商品開発や売り場の品揃えの最適化に向けて発信

国分グループ本社株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役会長兼 CEO:國分勘兵衛、以下国分)と凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下凸版印刷)は、これまでの食品容器の変遷をたどり、市場動向や生活者の容器に対するニーズなどを基に、未来の食品容器を予測した調査レポート「食品容器の未来を考える」を共同で制作しました。食品流通業界向けに2017年12月26日から提供を開始します。

本レポートは、戦後から現在に至るまでの食品容器の変遷をたどり、容器の進化がもたらした市場の変化を考察したうえで、「買う」、「作る」、「食べる」などのシーンごとによる容器の未来、「酒類」、「調味料」、「冷凍食品」などの食品カテゴリー別の詳細な動向を予測しています。

両社はこれまでも、世の中の「生活トレンドと兆し」をまとめたレポート「TK Bridge」(※1)を2013年から共同で制作してきました。今回、国分が従来培ってきた、商品や売場情報を活用したマーケティングの知見と凸版印刷が培ってきた、市場やトレンドの調査分析を行う商品企画のノウハウやパッケージ製造の知見を組み合わせることで、容器の「商品開発」や売り場の品揃えを考える際に役立てることを目的とした新しいレポートを制作しました。

### ■ 「食品容器の未来を考える」の詳細

#### ・戦後から現在に至るまでの食品容器年表

両社が持つ、小売業やメーカーなどの幅広い業界ネットワークを活用し、食にかかわるさまざまな容器の変遷を、時代背景、環境容器などのトピックスと併せて掲載しています。

#### ・2025年に求められる容器とは

凸版印刷が持つ、パッケージ製造の知見と2025年の未来予測から得られたキーワードを組み合わせ、「買う」、「作る」、「食べる」などの、シーンごとの食品容器の未来予測を掲載しています。

#### ・生活者の生の声を反映した食品カテゴリー別動向予測

国分が運営する、マーケティングサイト「ぐるっば」のアンケート機能を活用し、食品容器に関する生活者の悩みを集約。卸とパッケージ製造という両社の異なる知見を組み合わせ、今後の食品カテゴリー別動向予測を掲載しています。



「食品容器の未来を考える」の表紙

## ■ 今後の目標

両社は当レポートを小売業、メーカーをはじめ、食に関わるすべての企業に提供し、カテゴリ毎の容器の「商品開発」や、「売り場の品揃え」の最適化を提案します。今後も両社の知見を生かし、食品流通業界の活性化に貢献していきます。

### ※1 TK Bridge

TK Bridge は、世の中の「トレンド」と「兆し」をつかみ将来を予想する、「近未来 生活トレンド予測誌」です。流通にたざさわる企業の活動を全方位的にご支援するために、国分と凸版印刷が共同でプロジェクトを立ち上げ、取り組んでいます。年に一度、トレンド予測誌を発行して、お取引先様に向けて発信しています。

\* 本ニュースリリースに記載された会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

以 上

### 【報道に関するお問い合わせ先】

国分グループ本社株式会社 経営企画部広報課 TEL 03-3276-4121